

# 玉縄城 まちだより

発行者：玉縄城址まちづくり会議 荒井 章 TEL&FAX 0467-45-7411  
http://www48.tok2.com/home/tamanawajyo



玉縄城大手門推定復元図

築城500年の2012年を  
目指し「玉縄城  
500年祭」の  
基本構想を進  
めています。  
実行委員会の  
組織、祭典の  
「500年祭  
1000アイデ  
ア」、「市民ア

汗かき奉仕はまち  
づくり 環境整備部会】  
私たちはまちづくり構想と  
ともに奉仕活動を大切にして  
います。七曲坂の「美化整地」  
や龍宝寺の「清掃奉仕」を継  
続、今年3月から13回を数  
えます。まちづくりの原点は  
汗をかいて人に環境に役に立  
つ「喜びじゃないか」と爽快な実  
感を味わっています。

市民、行政との協働による  
あたらしいふるさとづくりを  
一緒に始めませんか。

「これまでのまちづくりは、行  
政に市民が「やっついてもらっ  
た」ものでした。「これからのまちづく  
り」は、市民が行政と「一緒につ  
くりあげる」ものです。  
まちづくりは人まかせにしま  
ない常識にとらわれない。批判  
のための批判、反対のための反  
対はしない。深く傾聴し自由  
に発言する。誰もが立場や利  
害を越え当事者として「協働」  
を追求し、ねばり強く相互互  
恵の結論を引き出す。「これ  
を会員レベルとし、玉縄城址  
まちづくり会議は市民と行  
政との協働」によって「玉縄城  
500年祭」を推進します。  
「玉縄城址公園づくり」を目

指します。会員、賛同者は  
118名を超えました。  
玉縄城址は玉縄の  
ランドマーク  
800年の鎌倉の歴史に呼  
応しながらも、さらに古い  
固有の歴史と文化を今日につ  
なげてきた玉縄。その歴史と  
地勢の中心には、常に玉縄城  
がありました。東に長尾台、  
西に柄沢、南には柏尾川、北  
に東海道と広大な城域をひろ  
げて  
玉縄城址は玉縄のランドマ  
ークです。  
あたらしい玉縄の年、  
2012年

関係者との提案と協議を進め  
ています。  
さらに、2012年「玉縄城  
址公園」の実現をめざし、基  
本構想を進めています。玉縄  
城址とその歴史の道「七曲坂」  
周辺を対象に、提案と準備作  
業に入っています。  
玉縄のシンボルである城址  
と周辺緑地を保全し、地域の  
環境資産として次世代につな  
ぐ、そのための行動を起こす  
それが今玉縄住民に課せら  
れているのではないでしょ  
うか。人任せにしていたら何事  
も起りません。自分が動け  
ば、何かが動き出します。

玉縄の素晴らしさ  
再発見 歴史啓発部会】  
玉縄城と玉縄の歴史を学  
び、ふるさとを素晴らしさを  
再発見する。それが私たちの  
思いであり、連続歴史セミナ  
ーの意図です。「玉縄の心」の  
源流を探り、それをまちづく  
りの力にして、多くの市民と  
協働について語り合いたいと思  
います。  
画像で再現する  
玉縄城 ツンボル部会】  
土塁の一部を除いてほとん  
ど形を留めていない玉縄城を  
どのように「見える形」にすべ  
るか。私たちは玉縄城の古絵  
図を描き、武者絵を描き、将  
来的にはCG化していく「映像  
による城址復元」を目指すこ  
とにしました。鎌倉市観光情  
報の超目玉ともなるあたら  
しい価値づくりを挑戦します。

## 市民行政の「協働」を進める 玉縄城500年祭 玉縄城址公園

ケート」実  
施計画な  
ど、市長、  
行政担当、



- 「玉縄城址まちづくり会議」の活動  
2006年(平成18年)  
7/ 1 荒井章が「市長への手紙」で協  
働によるまちづくりを提言  
7/28 市長から返書。さらに市長へ協  
働による玉縄城址公園化を提  
案  
8/ 3 市長、教育長による清泉女学  
院、諏訪壇、七曲坂の視察  
11/22 「玉縄城址周辺まちづくり推進  
会議」発会式  
2007年(平成19年)  
2/24 第1回総会  
第1回セミナー「玉縄城と小田  
原北条氏」  
3/ 3 第1回推進委員会。以後毎月  
開催  
3/ 4 第1回七曲坂草刈り奉仕  
3/12 鎌倉市との情報交換会  
3/31 第1回龍宝寺玉縄民俗資料  
館清掃  
4/10 第1回探索会「玉縄城址周  
辺を歩く」  
5/ 3 第2回七曲坂草刈り奉仕  
5/10 鎌倉NPO へ加入  
5/23 市長ふれあいトークで「500  
年祭と市民緑地公園化」に  
市長が前向き発言  
当会委員と市経営企画部、  
文化財課、景観課、みどり  
課、道路整備課、観光課との  
情報交換会  
6/ 9 第2回セミナー「玉縄城築城  
500年」  
6/16 第3回七曲坂草刈り奉仕  
6/19 第2回龍宝寺玉縄民俗資料  
館清掃  
7/ 1 「玉縄城址まちづくり会議」へ  
名称変更  
7/ 9 バス停名称変更検討委員会  
7/21 第3回龍宝寺玉縄民俗資料  
館清掃  
8/ 2 市長ふれあい地域懇談会に  
会長が参加  
8/18 市議会玉縄市議団と懇談  
8/28 市経営企画部と500年祭、  
玉縄城址公園化を協議  
8/30 神奈川県緑政課と懇談  
8/31 市景観部と玉縄城址公園化  
を協議  
9/8~10/2 7回に渡り「七曲坂」  
整地作業。延べ80人参加  
10/ 1 玉縄城址歴史の道「七曲坂」  
の里親となる鎌倉アダプト  
プログラム調印  
10/27 第3回セミナー「玉縄昔の暮  
し」



左手奥に裏門跡 手前の畑が本丸跡 右手に石碑、諏訪壇  
【ひと言】  
今、玉縄城址と言  
われているこの写真の  
地は、私が子供の頃  
は城山とか本所と  
読んでいました。城山  
は「諏訪壇」の山を  
指し、本所は城の屋  
敷跡と思われる畑を  
言いましたが、厳密に  
区別してはいたわけは  
なく、どちらの呼び  
方でも、城跡を指し  
ていることには違い  
ありませんでした。  
その城山の南西の

斜面には椎の木が  
幾本もあり、天然の  
椎茸が採れました。  
この写真の年を  
過ぎる頃から畑を耕  
作する人も無くな  
り、雑草のグランドに  
変身して文字通り草  
野球の広場になりま  
したが、飛んだボール  
探しに10分〜20  
分中断するのが毎度  
でした。  
今は大きく変貌し  
て清泉女学院のグラ  
ウンドに変わりました。

### 玉縄思い出写真館

関根 肇さん  
昭和32年撮影



秋の玉縄城址周辺  
を歩く  
第2回探索会のお誘い  
日時 11月24日(土)  
13:30~16:30  
(13:00集合)  
集合場所 玉縄学習セン  
ター2階(図書館外側)  
「玉縄昔の写真、古絵図、  
武者絵展」開催会場  
参加無料  
資料代200円(電話)  
問合せ 申込み(電話)  
0467463343 関根  
0467457411 荒井  
第2回総会とセミナー  
日時 1月26日(土)  
13:30~セミナー  
15:30~総会  
場所 玉縄学習センター

【編集後記】  
6月より編集を進めてき  
ました「玉縄城 まちだより  
創刊号」をお届けします。  
私たちの会は、玉縄の地に  
先祖代々住む人、ちょっと  
昔から住む人、最近住み  
始めた人、住んではないが  
玉縄の地を愛する人が、  
みんなで夢を出し合って、  
一歩一歩活動を進めていま  
す。本紙では、半年に1回の  
ペースで、私たちの知りたい  
こと「やりたいこと」「玉縄の  
昔今未来」を伝えて行き  
ます。  
会費払込のための  
郵便振替口座番号  
002507114824  
玉縄城址まちづくり会議



玉縄小学校時代の熊代さん

二つの山に登るのを子どもたちは楽しみにしていました。冒険心を沸き立たせたのかも知れません。

「玉縄と私」私の教育との出会いを演出す。私が教職に就いたのは昭和36年です。最初の赴任校が、当時、木造校舎の学校周辺を田んぼで囲まれていた玉縄小学校でした。春から夏にかけて、一面緑の稲の上を爽やかな風が吹き渡り、秋になると黄色に染まった稲穂が、その風に波を打って揺れ動き、刈り取ったあとの田んぼには、何処からか純白のユサギが数羽飛来してきては餌をついばんでいました。その光景は未だ強烈に脳裏に焼きついて、記憶の中に鮮明に残っています。高学年を受け持つと私は決まって、まだ開発されていなかった栄光の山や玉縄城址の山に児童たちを連れて行っては、自由に遊ばせてやりました。ほとんど道もついていないようなところも歩かせたりもしました。男の子も女の子も大喜びで山の中を歩き回っていました。雪の降り積もった翌日は、この



昭和44年(1969年)頃の玉縄小学校(南側にあった正門から)

七曲から関谷方面に通じる辺りも子どもたちを連れて、理科や社会科の時間には実地観察に訪れたものでした。陣屋坂もその「トス」の中にありました。メダカやクチボソ、タガメなど今では宝物のようになつてしまった生物を、あちらこちらに見ることができました。途中の坂道では、石礫のしづぶて(らしいものを見つけたと、教室に戻ってその昔に思いを馳せる子どもいました。

山と緑、水と小川、田んぼと生物、子どもたちの元気な笑顔、自然の宝庫のような環境の中で玉縄小学校時代を一人の教師として、あの子どもたちと過ごすことができたことを誇りに思い、私の生涯の宝物として、心の中にいつまでも生き続けています。私の教育の原点は、「玉縄」にあるのです。(鎌倉市教育長)

歴史シリーズ1 玉縄北条氏の始まり

玉縄城は、永正九年(1512年)に小田原北条氏の祖伊勢宗瑞(通称北条早雲)が築いたと伝えられています。初代城主は、宗瑞の次男北条左馬之助氏時です。築城の狙いは、相模制覇を目指す宗瑞が、相模の豪族三浦氏を三浦に追いやった後に、三浦氏への援軍を防御することにあります。

玉縄の地は、宗瑞の相模制覇を阻止しようとする諸勢力が割拠する北相模や、武蔵そして鎌倉から三浦の道を通じる交通の要衝にあつたのです。事実、玉縄城が築かれて間もなく、食料不足となつた三浦新井城の三浦氏を援護しようと上杉軍が江戸城から南下して来た時、宗瑞は玉縄城北方で城を背にして迎え撃ち、これを撃退しています。

その後、玉縄城を拠点にして、宗瑞は三浦氏を滅ぼして、念願であった相模をほぼ手中にしました。この城の役割は、宗瑞の長子氏綱の代になって大いに発揮されるのです。

永正十九年に宗瑞が他界した後、城主の氏時は、玉縄城を良く守り、兄の小田原北条氏二代目当主北条氏綱の武蔵進出の拠点としての役割を十分果たしました。



宗瑞亡き後に氏時を襲った大きな試練は、房総の里見氏の来襲です。大永六年(1526年)、里見氏は海を渡り三浦の海岸から鎌倉に乱入、更に玉縄城を目指して戸部川(現在の柏尾川)に到りました。氏時は大船の甘糟氏・渡内の福原氏など土着の侍と共に、玉縄城下の戸部橋附近でこれを迎え撃ち、撃退したとのこと。この戦では双方に多くの死者がでて、玉縄側も甘糟氏を始め35人もの人々が犠牲者となりました。現在、岡本の戸部橋際に、玉縄首塚(甘糟塚ともいふ)があります。ここは、この35人の首を葬り、併せて敵味方双方の死者の霊を弔うために設けられた所であり、碑文の題目に「怨親平等」と記されていることから、その主旨が汲み取れます。この氏時を初代とする歴代北条氏は、小田原北条氏が相模・武蔵からその周辺へと勢力を拡大する中で、重要な役割を果たしていったのです。

誰でも入れる「玉縄城址公園」

協働の手法で築き上げよう

玉縄城址は玉縄のランドマークであり、誰もが自由に入ることのできる公園の建設が待たれています。難攻不落と言われた「玉縄城」を歴史の中に埋もれさせたままにするわけには行きません。

「諏訪壇跡」は現在一般開放されていません。更に「七曲坂」など歴史の道や史跡を荒れたまま放置してれば、やがて宅地造成などの波にさらされて荒廃してしまうことでしょう。

「玉縄歴史の会」を中心に玉縄城の歴史的位置づけが明らかにされ、城址の輪郭も見えてきています。土塁を築き上げ、その上を柵で囲み何処から見てもよじ登るこの困難な城



七曲坂の草刈りに精を出すメンバー達

のイメージです。「大手門跡」を通じる「七曲坂」周辺の山林地を、遊歩道を備えた公園にすれば、自然に恵まれ子どもたちの遊び場としても、また地域の人々が自由に散策できる

憩いの場所にもなります。既に地権者のご理解を得て、大勢の方々の協力で、荒れ放題だった低雑木竹類等の伐採や刈取りに取り組み、花壇準備の作業が進んでいます。さらに2012年(平成24年)には「玉縄城築城500年」を迎えます。知恵と汗と情熱で城作り」に取り組みます。



玉縄城址の位置

正門の様な冠木門(かぶきもん)であったと推定されます

玉縄はこんなに素晴らしい!

故郷(ふるさと)に住む者の心を豊かに育ててくれる所です。玉縄に移り住んで来た人や家族にとっても故郷にするために、玉縄の空・空気・時間・自然を共有財産にしていくと玉縄城址まちづくり会議が発足してから1年が経過しようとしています。玉縄城をランドマークとする私たちの運動は「協働」を中心としています。

「玉縄城址公園」を皆の手でつくること、実は新しい玉縄城を作ることにほかならないと、私たちは気づき始めました。素晴らしい人たちの住むまち玉縄を共有財産として、「玉縄城址公園づくり」「玉縄城500年祭」を進めて行きましょう。

協働なら実現できる 玉縄城址公園づくり・500年祭

特報 行政との協働もあればできる 七曲坂の美化奉仕で集まった大量の帰化植物などの処理について、頭を抱えた環境整備部会。当会の行政窓口と相談したところ、10月2日に市職員がトラック3台で七曲坂に急行。会員と一緒に力仕事をしたばかりか、関谷今泉処理場の運搬まで受け持ってくれたのです。

これこそ協働の成果と、全員感激。

鎌倉アダプトプログラムに参加 「玉縄城址 歴史の道「七曲坂」」の美化奉仕を当会が「道の里親」となつて行う「アダプトプログラム」の調印を鎌倉市と10月1日に行いました。市内で5番目の調印で、当会では、毎月第1土曜日、9時から清掃活動を行っています。



玉縄城大手門礎石(玉縄民俗資料館蔵)

玉縄城址まちづくり会議に参加してみませんか。毎月第4土曜日の推進委員会でお待ちしています。